

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年2月10日

施設名	高知青少年の家	所管課	高知県教育委員会事務局生涯学習課
-----	---------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和2年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川親子体験教室 ・親子陶芸教室 ・メモリアルアート教室 ・夏休み学習支援教室 ・高校連携事業 夏休みプログラミング教室 ・はじめての手話教室 ・木でスポーツモルック&カーリング ・ドローン体験教室 ・親子キャンドル教室 ・折り紙飛行機教室 ・小学生パソコン教室(放課後居場所作り事業) 		
施設内容	研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日:昭和63年6月1日 延床面積:1,230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建 施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)		
職員体制	職員:所長1名 事務長1名 指導員3名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
収入	県支出金	21,017,000	21,358,000	21,323,000
	事業費収入	52,500	44,000	84,000
	収入計	21,069,500	21,402,000	21,407,000
支出	事業費	451,739	404,150	591,000
	管理運営費	8,297,493	7,623,407	7,713,000
	人件費	10,382,863	11,183,712	11,158,000
	消費税	1,937,405	2,190,731	1,945,000
	支出計	21,069,500	21,402,000	21,407,000
使用料収入		710,920	523,080	684,000

3 利用実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数	18,105	21,203	22,040	20,604	10,800	18,550
利用団体数	1,032	1,097	1,093	1,020	834	1,015

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業や、様々な親子行事を計画し、利用拡大に向けて積極的に取り組んでいる。 ・「小学生パソコン教室」は、子どもたちの放課後の活動を支援し、地域の居場所づくりとして貢献している。 ・「プログラミング教室」や「ドローン教室」など、社会状況やニーズを捉えた企画を取り入れ、特に、「プログラミング教室」では、高校生が講師役となり、参加者だけでなく、高校生にとっても貴重な体験の機会となっている。今後も中高生が参画する事業を計画してほしい。 ・今後も、高知の子どもたちや若者に、今必要な知識や能力は何かを考え、それを実現・達成できるプログラムを考案してほしい。 ・当初計画していた「オセロ」から、感染対策を十分に行い(換気・マスク・軍手着用など)「カーリング」に変更するなど、できるだけ中止せずに実施するよう努めている。 ・ホームページによる情報発信だけでなく、フェイスブック、Instagram、ツイッターなど相方向のコミュニケーションツールの活用も検討してほしい。 ・健康パスポート事業や、GIGAスクール構想など、高知県が進める取組と連携したプログラムの考案なども検討してほしい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・主催事業後のアンケートや利用者アンケート、日頃の利用者との対話等から利用者ニーズを把握し、改善に生かしている。 ・施設の設備面での安全管理や、事故防止については、今後も継続してほしい。 ・年末年始と年1度の消毒日以外は開館し、利用者のニーズに十分に応えている。(稼働実績358日) ・清掃等環境美化に努めるとともに、季節ごとに施設内に装飾を行うなど、利用者を気持ちよく迎えるよう努めている。 ・高齢者向け教室への貸室の提供や、手話教室の開催など、高齢者への配慮や、障害者理解に努めている。 ・地元の自主防災組織の長とも協力し、いの町の災害時指定避難所としてさらに町との連携強化、体制整備を図ってほしい。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に「運営方針」を全職員で確認し、職員の主体性とチームワークを大切に運営を心がけている。 ・適宜、施設巡回を行い、破損箇所や汚れ等の目視点検及び整理整頓を行っている。 ・安全管理については、入念な対策と訓練を実施してほしい。
④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、前年の約半数の利用実績となっているが、親子参加型事業ではリピーターが増えるなど、ニーズも高く、こういった事業を感染症対策を徹底のうえ継続することで、利用促進につなげてほしい。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、費用の実績も下がると思われるが、代替事業の実施や既存事業の回数増などにより、今後も指定管理代行料を有効に活用できるよう、努めてほしい。
総合評価	<p>青少年教育施設としての目標や、仕様書に定める内容を十分に達成している。</p>
	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響の中、事業の見直しや人数制限等により、できるだけ中止にせず実施するよう努めている。 ・学校や地域との連携により、充実した事業展開ができています。 ・利用者が気持ちよく利用できるように、整理整頓され清潔な施設であるよう、職員が努力している。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの